

薬学部
人文社会学部
ヒューマンケア学部
健康メデイカル学部
健康医療スポーツ学部

基礎能力検査
国語

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

一、試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。

二、解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。マーク式の問題はマーク用解答用紙に左記の例のようにマークしてください。

(例)

解答	1	2
	①	①
	②	②
	●	③
	④	●
	⑤	●
	⑥	⑥
	⑦	⑦
	⑧	⑧
	⑨	⑨
	⑩	⑩

※同じ解答欄に複数のマークをすることもあります

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

三、机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り(電動式は除く)・時計(時計機能だけのもの)・眼鏡以外のものは置かないでください。

四、問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。

五、問題は3問全問解答必須です。

六、試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。

七、問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。

八、配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。

◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの上枠に○をつけてください(第一志望のみ)

受験番号																																																																																																			
氏名																																																																																																			
志望学科・コース																																																																																																			
<table><tr><td colspan="2">薬学部</td><td colspan="2">人文社会学部</td><td colspan="2">ヒューマンケア学部</td><td colspan="2">健康メデイカル学部</td><td colspan="2">健康医療スポーツ学部</td></tr><tr><td>薬学</td><td>薬学</td><td>トリーナー・スポーツ経営</td><td>トリーナー・鍼灸</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr><tr><td>人文社会学部</td><td>人文社会学部</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr><tr><td>小学校・特別支援</td><td>小学校・特別支援</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr><tr><td>保育・幼稚園</td><td>保育・幼稚園</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr><tr><td>福祉</td><td>福祉</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr><tr><td>メディア文化</td><td>メディア文化</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr><tr><td>経営</td><td>経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr><tr><td>経営</td><td>経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・経営</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td><td>健康栄養</td><td>健康栄養</td><td>トリーナー・看護</td><td>トリーナー・看護</td></tr></table>										薬学部		人文社会学部		ヒューマンケア学部		健康メデイカル学部		健康医療スポーツ学部		薬学	薬学	トリーナー・スポーツ経営	トリーナー・鍼灸	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護	人文社会学部	人文社会学部	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護	小学校・特別支援	小学校・特別支援	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護	保育・幼稚園	保育・幼稚園	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護	福祉	福祉	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護	メディア文化	メディア文化	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護	経営	経営	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護	経営	経営	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護
薬学部		人文社会学部		ヒューマンケア学部		健康メデイカル学部		健康医療スポーツ学部																																																																																											
薬学	薬学	トリーナー・スポーツ経営	トリーナー・鍼灸	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										
人文社会学部	人文社会学部	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										
小学校・特別支援	小学校・特別支援	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										
保育・幼稚園	保育・幼稚園	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										
福祉	福祉	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										
メディア文化	メディア文化	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										
経営	経営	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										
経営	経営	トリーナー・経営	トリーナー・経営	トリーナー・看護	トリーナー・看護	健康栄養	健康栄養	トリーナー・看護	トリーナー・看護																																																																																										

「問題Ⅱ」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

誤解・軽視される承認欲求

二、三年前、「承認欲求」という言葉がちよつとした流行語になった。当時グーグルで検索してみると数百万件ヒットし、流行語大賞を受賞した「付度」^{そんたく}などを遥かに上回っていた。

もともと、承認欲求といえはネガティブなイメージが圧倒的に強かった。コンビニやファストフード店の若い店員が注目されるために、わざと不適切な行為をしてネットにその姿をさらしたり、「インスタ映え」をねらって化粧や服装にムダな時間とお金を使ったりする行動が問題になり、それが承認欲求によるものだと指摘されたのだ。

I それ以来、承認欲求といえは、とにかく目立ちたい、注目されたいという欲求だと理解している人が多い。しかし、そうした行動は承認欲求の特殊な表れ方に過ぎない。実際はもっと奥深くて普遍的で、欲求の本身も表れ方も多様性に富んでいる。

心理学者のA・H・マズローによる「欲求階層説」は高等学校の教科書に載るくらい有名なが、そのなかで承認欲求は生理的欲求や安全・安定の欲求などと並んで人間の基本的な欲求の一つに位置づけられている。

マズローは承認欲求について、「人間社会では、すべての人々（少々の病的例外はあるとしても）は通常安定し、基礎の確立した、自己に対する高い評価や自己尊敬、自尊心、他者から尊重されることに對する欲求あるいは欲望をもっている」と述べている（A・H・マズロー〈小口忠彦監訳〉『人間性の心理学』産業能率大学出版部、一九七一年、一〇〇頁）。端的にいえば、承認欲求とは「他人から認められたい、そして自分を価値ある存在だと認めたい」という欲求である。

ただこのような定義はやや抽象的で、必ずしもA¹的根拠に裏づけられたものではない。人間の心理そのものに未知の部分が多いうえに、「承認」という言葉自体にもあいまいさがともなう。そのためある程度、抽象的、B²的にならざるを得ないのである。もともと近年は、脳科学の分野から承認欲求の本質に迫ろうとする動きもみられるが、それでも人間の脳の仕組みがすべて解明できない以上、説明できる範囲はかぎられている。

さらに心理学者の間からは、Ⅱ³ そもそも承認欲求を「欲求」と呼べるか疑問だという指摘もある。食欲や性欲などのように欲求とは本来、人間に生まれつき備わっているものだからである。

たしかに私たちが承認欲求と呼んでいるもののうちには、純粋な欲求とはいえないものも含まれている。他人から認められたいという気持ちのなかには、たとえば認められると発言力が増し、自分の要求が通りやすくなるとか、人事評価がよくなり給与が上がるだろうというような計算も紛れ込んでいる場合が多い。

また認められると自己a⁴ コウ力感、自己肯定感、自尊心などが高まるほか、承認が達成欲求、自己実現欲求、支配欲といった他の欲求・欲望を満たす手段になる場合もある。つまり別の欲求が、承認欲求の衣をまとっているわけである。それゆえ承認されたいという積極的な形で表れるばかりでなく、承認を失いたくないという消極的な形で表れる場合もある。しかも他の欲求や別の要因と結びついているため、なかなか「足る」ということがない。いろいろな意味で粘着質の欲求だといえよう。

A⁵、だからといって純粋な欲求としての要素がまったくないとはいえない。たとえば子どもが親に認められたいとか、大人が異性にモテたいと思うのは欲求そのものだろうし、前述したネットへの露出なども比較的ナイーブ（素朴）な欲求の発露である。もつと極端な例をあげれば、そもそもC⁶ の関係を考えられないような乳児やイヌ・ネコのような動物にさえ、ほめられようとする行動

が見られるし、ほめてやると満足感を表す場合がある。

無意識に、あるいは屈折した形で表れやすいのも承認欲求の特徴である。私たちは日常生活のさまざまな場面で承認欲求に影響されているケースが多いし、意地や面子^{メンツ}、嫉妬などの感情として表れることもある。職場でも自分の頭越しに話が進められたため意地になって反対する人や、部下が活躍して自分の影が薄れるのを恐れる上司の姿などをしばしば目にするものだ。

このように承認欲求はその性格上、厳密な定義が難しく、**b 輪カク**も明確でない。そもそも既存の概念が現実を過不足なくとらえているとはかぎらない。むしろ承認欲求とは、そういうものだと考えておいたほうがよさそうだ。しかも複雑な社会現象を説明するうえでは、あまり厳密な定義にこだわらないほうがかえって生産的な場合が多い。

したがって本書では、純粹な欲求のほか、何らかの動機に基づく承認の願望も含め「承認欲求」と呼ぶことにしたい。

承認欲求をこのようにとらえると、私たちが想像する以上に承認欲求は態度や行動に広く関係していることがわかる。承認欲求そのものが、これまであまり重視されず、真正面から取りあげられなかった大きな理由がそのあたりにあるのではなからうか。

自分を綺麗^{きれ}に映す鏡がほしい

承認欲求のなかで基礎的な部分を占めているのは、「自分自身を知りたい」という願望である。社会的動物である人間は、自分自身の能力や個性に加えて、自分が他人からどう評価されているか、集団のなかでどのように位置づけられているかを知りたいと思う。

そのためには、他人から知らせてもらわなければならない。たとえていうなら自分を映す「鏡」のようなものが必要なのである。しかもグリム童話に出てくる白雪姫の継母ではないが、だれでも自分のでさるだけ綺麗な姿を映す「鏡」がほしい。それが承認欲求の特徴だといえよう。

そして実際に承認欲求を満たしてくれるのが、他人や周囲からの「承認」である。先にあげた職場の例だと、上司からほめられたり、お客さんから感謝されたりといった直接的なもののほか、笑顔で挨拶されるのも、自分の発言に相手が耳を傾けてくれるのも、食事に誘ってくれるのも承認されている証しである。

さらに承認を自分に関する情報の提供、自分の言動に対するフィードバックととらえるなら、他人からの注意や **c シツ責**、クレームといったネガティブな情報も承認の一部だといえる。それ以外にも私たちは職場でさまざまな形による無数のコミュニケーションを行っており、そこから無意識のうちに承認欲求を満たしている。

イ 欲求を満足させるという点からいえば、同じ承認でも意外性からくる刺激はいつそう効果が大きい。たとえば自分の仕事をたびたび上司や同僚からほめられるより、たまたま会社で出会った他部署の人や、出張先で一緒に食事をした取引先の人にほめられたほうがうれしいものだ。ふだんは厳しい上司が、帰り際に廊下ですれ違ったとき日ごろの努力をねぎらってくれたのが強く印象に残ることもある。

（太田肇『日本人の承認欲求』より）

問一 傍線部 a ～ c のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答は、a ～ c の順にマーク用解答用紙の 1 ～ 3 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|
| a | ① 巧妙 | ② 効能 | ③ 交代 | ④ 郊外 | ⑤ 抗告 |
| b | ① 規格 | ② 比較 | ③ 間隔 | ④ 視覚 | ⑤ 城郭 |
| c | ① 失政 | ② 叱正 | ③ 疾走 | ④ 執刀 | ⑤ 漆黒 |

問二 空欄 ア ・ イ に入る語は何か。次の中から、それぞれ最も適切な語を選びなさい。

解答は、ア・イの順にマーク用解答用紙の 4 ・ 5 にマークしなさい。そのとき、同じ語を繰り返し選ばないこと。

- | | | | |
|--------|--------|---------|-------|
| ① 仮にも | ② なぜなら | ③ このように | ④ 中には |
| ⑤ なるほど | ⑥ なお | ⑦ しかし | |

問三 空欄 A ・ B に入る語は何か。次の中から最も適切な組み合わせを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 6 にマークしなさい。

- | | |
|------------|--------|
| ① 〔 A 主観 〕 | B 客観 〕 |
| ② 〔 A 道義 〕 | B 必然 〕 |
| ③ 〔 A 実証 〕 | B 思弁 〕 |
| ④ 〔 A 包括 〕 | B 根本 〕 |
| ⑤ 〔 A 意識 〕 | B 科学 〕 |

問四 傍線部 I 「それ」が指し示す内容は何か。次の中から最も適するものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 7 にマークしなさい。

- ① グーグルで検索すると「承認欲求」という言葉が数百万件ヒットしたとき
- ② 「承認欲求」という言葉と「付度」という言葉にネガティブなイメージが備わっていたとき
- ③ コンビニやファストフード店が流行してそこに若い店員がたくさん勤め始めたとき
- ④ 不適切な行為や「映え」ねらいの化粧等のネット公開が承認欲求の表れだと指摘されたとき
- ⑤ 「承認欲求」の中身が奥深く普遍的で多様性に富んでいるということがわかったとき

問五 傍線部 II 「そもそも承認欲求を「欲求」と呼べるか疑問だ」とあるが、こう言える理由は何か。解答欄に合わせて、六十字以上七十五字以内（句読点、記号等も字数に含む）で答えなさい。解答は記述用解答用紙に書きなさい。

問六 空欄「C」に入ることばは何か。最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の「8」にマークしなさい。

- ① 手段と目的
- ② 承認と欲求
- ③ 材料と根拠
- ④ 疑問と仮説
- ⑤ 事実と意見

問七 本文の内容に合致しているものを、次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の「9」にマークしなさい。

- ① 承認欲求とは、注目されたいという欲求のことである。
- ② 承認欲求は純粋な欲求である。
- ③ 承認欲求を定義することは簡単なことではない。
- ④ 純粋な欲求とは、承認の願望のことである。
- ⑤ 承認欲求には意外性が必須である。

「問題二」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

筆者は、大学卒業後40年以上にわたりハウジングコンサルタントとして行政の住宅政策に関わってきましたが、ここ数年の時代の大きな変容に戸惑うことも多々あります。近年の行政の様々な計画は、成長や拡大路線を志向し、強い経済を目指した産業政策とその副作用にあたる居住の貧困の支援との二極化が際立ってきていますが、いずれも、I 依然として計画や制度設計の担い手は行政官とそれをサポートするコンサルタントに委ねられています。このため、近年の様々な政策や計画は成長や拡大を志向する事業や業界の育成に軸足を置くものが多くなっているように思います。

我々ハウジングコンサルタントは計画づくりの専門家ですが、住まいづくりや住まい方の専門家は、実は地域に居住する住民自身です。これからの住まいづくりは、住まい手の視点から地域の住民やまちづくりに参加する様々なひとたちに寄り添って計画していくことが求められています。こうした視点に立てば今までとは異なった別の風景が見えてくるように思います。まずは多くの人々に住まいに関わる状況や仕組みを理解していただくことが重要で、そのためには地域住民やまちづくりの担い手と協働するための仕組みが重要になります。

現代は、国際化が進展し、IT技術などを背景としたポータブルな社会が構築されつつある一方で、諸外国との言葉や習慣、考え方、文化などの違いや地域の独自性が再認識されるようになってきました。そのような中で、徐々に日本特有の文化や美しさに対する意識が強くなってきました。人々の生活様式や価値観がAとして、地域内での住民の間の交流などはaキ薄化しつつありますが、一方で、地域社会の将来や持続可能性を危惧する声も少なくありません。時代の変化の中で、地域を手掛かりとしたひとびとの交流や生活行動意識を再構築することが求められているといえます。

現在のハウジングは様々な視点や領域で大きく変容しています。後述する「^{注1}住生活基本法」の成立を待つまでもなく、住宅産業は、大量生産の時代からきめ細かな住生活空間の創造や新しい生活像の提案を重視する居住産業・生活サービス産業にシフトしており、住宅需要も徐々に新築からリフォームや既存住宅流通に移行してきました。いわば、「ハコの産業」から「場の産業」へのシフトが謳われ、住宅地の大型開発は影を潜め、団地や郊外住宅地の再生が住宅地整備の主たる事業に代わってきています。これらを担う住宅・居住産業は、従来の大量供給を目指したハウスメーカーなどの大量生産・工場生産型の産業から脱皮し、きめ細かさや地域や場所ごとのⅡ即地的対応が求められるようになってきているのです。その供給ビジネスは、よりきめ細かな対応を可能とする、地域に密着した居住関連産業への移行が必然となっています。住宅・居住産業は、流通機能や情報機能の発展により、生産と消費の分散化が可能となり、状況に応じた再編が進んでいましたが、これからの居住産業の基盤は、地域活性化支援、地域創生、リフォーム対応に一層シフトしていくと思われます。

高齢化に伴う居住サービスも、福祉・生活サービスに見られるような財やサービスの生産・供給と、それらの消費が同時にかつ同場で行われることになるでしょう。そして、これに代表されるように地域密着型のサービスは、小さな系で循環する経済をベースに、ストック再生ビジネス、空き家活用ビジネス、各種シェアハウジング、民泊ビジネス、コミュニティ型居住ビジネス、居住支援ビジネスなどに発展・展開することが見込まれます。

これら産業の発展理念は、社会経済理念としての「規模の経済」から「Bの経済（密度の経済）」を方向づけることとなります。すなわち、団地のように標準化された少品種製品的大量供給による生産性の向上を図る物的供給事業モデルから、小エリアにおける物的供給やサービス・管理など多角的な事業展開を総合することによって事業効率を求める総合生活産業への展開が主たるビジネスモデルとなる

ことが必然です。こうしたビジネスは、種々の業態間のシナジー効果を生み、エリア内の様々な活動の関係性を強め、新たな地域社会像を構築する機動力となります。

現在は、地域の総合生活産業を担う市場は未だ先導的、ゲリラ的な事業にとどまっていますが、Ⅲこうした活動やビジネスは、地域に密着するが故に得られる「顔の見える業」の信頼性が高く、地域にとって持続的な取り組みとして社会 b コウ献が見込まれます。

地域ごとに生ずる居住格差や住宅問題についても、詳細な状況把握ときめ細かな対応が可能になり、市場のセーフティネット機能の確立や、それらの事業の保護など多角的に取り組むことができます。人口減少時代のまちづくりや都市政策としてのコンパクトシティの実現に向けては、こうした地域密着型のハウジングビジネスによる地域経済循環の実現とその社会像の共有が不可欠となります。

とりわけ、賃貸住宅市場をみるとⅣ賃貸住宅は地域の居住循環を支える財としての社会性が評価されるビジネスとならなければなりません。したがって、賃貸住宅市場についても、適正・公正に取引される市場ビジネスとアフオーダブル（適正な家賃）な住宅として安定した居住状況を実現することが必要です。

また、住宅の資産価値の持続に向けては、改修の促進、管理システムの確立が求められ、これらを適正に評価する仕組みと共に、こうしたビジネスを含む地域の雇用、市場活動を支え、居住産業・生活産業や地域産業、雇用等の地域社会構造への再編を伴って、地域社会の様々な居住関連市場を構成するための総合的取り組みが求められます。

（川崎直宏『これからの住まい』より）

注 1 住生活基本法 …… 住生活の安定の確保と向上の促進に関する施策について、その基本

理念、国・地方公共団体・住宅関連業者の責務の明確化、住生活基本計画の策定その他の基本となる事項について定めた法律。2006年に施行された。

2 シナジー効果 …… 複数の要素や事業を組み合わせることで、単純な足し算以上の成果を生み出すこと。

問一 傍線部 a・b のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答は、a・b の順にマーク用解答用紙の 10・11 にマークしなさい。

- | a | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|----|----|----|----|----|
| ① | 気候 | 機械 | 既成 | 規制 | 希望 |
| b | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| | 功勞 | 貢納 | 構想 | 公認 | 肯定 |

問二 傍線部 I 「依然として」が直接修飾するのは波線部の中のどの箇所か。次の中から最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 12 にマークしなさい。

- ① 計画や制度設計の
- ② 担い手は
- ③ 行政官とそれをサポートする
- ④ コンサルタントに
- ⑤ 委ねられています

問三 二重傍線部 「重要で」とあるが、この語の品詞名は何か。次の中から最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 13 にマークしなさい。

- ① 副詞
- ② 形容動詞
- ③ 形容詞
- ④ 連体詞
- ⑤ 動詞

問四 空欄 A に入ることばは何か。次の中から最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 14 にマークしなさい。

- ① 実写化
- ② 粘性化
- ③ 多様化
- ④ 過激化
- ⑤ 擬人化

問五 傍線部Ⅱ「即地的対応」とあるが、この語の意味は何か。次の中から最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の15にマークしなさい。

- ① 「ハコの産業」へのシフト
- ② 供給ビジネス
- ③ 流通機能や情報機能の発展
- ④ 生産と消費の分散化
- ⑤ 地域密着型のサービス

問六 空欄Bに入ることは何か。次の中から最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の16にマークしなさい。

- ① 再現
- ② 消費
- ③ 資産
- ④ 範囲
- ⑤ 活動

問七 傍線部Ⅲ「こうした活動やビジネス」とあるが、このことばが指し示す内容は何か。次の中から最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の17にマークしなさい。

- ① 団地のように標準化された少品種製品的大量供給による生産性の向上を図る活動やビジネス
- ② 小エリアにおける物的供給やサービス・管理など多角的な事業展開を総合することで事業効率を求める活動やビジネス
- ③ 社会経済理念としての「規模の経済」によって新たな地域社会像を構築しようとする活動やビジネス
- ④ 住宅地の大型化などに代表される、先導的、ゲリラ的な活動やビジネス
- ⑤ 人口増加と住宅の資産価値の持続を目標として、安定した居住状況を実施しようとする活動やビジネス

問八 傍線部Ⅳ「賃貸住宅は地域の居住循環を支える財としての社会性が評価されるビジネスとな

らなければなりません」とあるが、こう言えるのは、賃貸住宅の現状がどうなっているからか。

次の中から最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 18 にマークしなさい。

- ① 賃貸住宅政策が行政官の思いどおりに進んでいない。
- ② ハウジングコンサルタントが賃貸住宅政策を進めている。
- ③ 地域住民が賃貸住宅政策を進めている。
- ④ 大量供給の考え方が賃貸住宅政策を進めている。
- ⑤ 地域創生の考え方が賃貸住宅政策を進めている。

「問題三」 次の各問いに答えなさい。

問一 次の A ～ E の語の対義語を、後の〈語群〉から、それぞれ一つ選びなさい。解答は、A ～ E の順にマーク用解答用紙の 19 ～ 23 にマークしなさい。

- A 違反
B 簡潔
C 質素
D 怠惰
E 模倣

〈語群〉

- ① 勤勉 ② 華美 ③ 創造
④ 煩雑 ⑤ 遵守 ⑥ 興隆

問二 次の A ～ E の慣用句の意味を、後の〈語群〉から、それぞれ一つ選びなさい。解答は、A ～ E の順にマーク用解答用紙の 24 ～ 28 にマークしなさい。

- A 猫の手も借りたい
B 馬が合う
C 河童の川流れ
D 雀の涙
E 蛇の道は蛇

〈語群〉

- ① 非常に忙しくて、どんな手伝いでもほしいこと。
② 専門的なことはその道の専門家に聞くのが最も良い。
③ その道の達人といわれるほどの人でも、時には失敗をすることもある。
④ 人の世話を焼くより、自分のすべきことをやるべきだ。
⑤ 気がよく合う。意気投合する。
⑥ とても少ない量。ごくわずかな量。